

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 5 日現在

機関番号：32612

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2010～2013

課題番号：22320070

研究課題名(和文) 近現代中国における伝統芸能の変容と地域社会

研究課題名(英文) the modification of traditional theatres and local societies in modern China

研究代表者

氷上 正 (HIKAMI, Tadashi)

慶應義塾大学・総合政策学部・教授

研究者番号：40228698

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 14,400,000円、(間接経費) 4,320,000円

研究成果の概要(和文)：近現代中国の伝統芸能について、華北地域の冀東系皮影戯・京劇・相声、および江南地域の皖南皮影戯・宣卷を対象として、その形成と変容・都市と農村を結ぶ伝統芸能のネットワーク構造・これら伝統芸能を支える社会経済背景・その芸能文化と地域性などの問題を解明し、また関連するデジタルアーカイブの作成・公開を行った。

研究成果の概要(英文)：This study is about traditional theatres in modern China which mainly focus on the shadow plays of Eastern Hebei province, Peking Opera and Stand-up comedy in Northern China; the shadow plays of South Anhui province and Xuanjuan in Southern China. In this study, we have clarified the structure of Chinese traditional theatre by analyzing its formation, development and its connections between urban and rural areas. We also have analyzed the social and economic background that these traditional theatres were born and their local characters. And a digital archive concerned the study above was made and published on the website.

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・各国文学・文学論

キーワード：皮影戯 京劇 中国地域社会 中国伝統芸能 デジタルアーカイブ 相声 曲芸 無形文化遺産

1. 研究開始当初の背景

中国の伝統芸能に関する研究は、1980年代以降、我が国において農村祭祀芸能に対する演劇史・文化人類学的調査が進展し、また中国において地方芸能の調査・整理が進んだこととあわせて、新たな伝統芸能像が描き出されている。一方、各地の伝統芸能のあり方の解明が進むにつれて、それら個別の事象を相互に結びつける、地域内および地域間のネットワーク構造の解明が新たな課題として浮上している。

かかる認識に立ち、研究代表者は科研費研究「近代北方中国の芸能に関する総合的研究

京劇と皮影戲をめぐって」(平成14～16年度、基盤研究(B)、課題番号14310204)および「近現代華北地域における伝統芸能文化の総合的研究」(平成17～19年度、基盤研究(B)、課題番号17320059)を通じて、華北地域の文化的中心地たる北京と、その文化的後背地の一つである山西・陝西地域の芸能文化に関する研究を進め、近現代における都市芸能と農村芸能との交流や地域に根ざした上演・受容の実態を解明してきた。

本研究は、そうした従来の研究成果の蓄積を踏まえて、改めて北京とその周辺地域、天津市・河北省東部、および東北地方の芸能を取りあげ、近現代における芸能の変容および地域社会に支えられた芸能流通のネットワーク構造を解明するものとして着想された。

一方、研究が一定程度蓄積したことで、北方における芸能および芸能を支える社会・経済背景の特色をあきらかにするために、南方、とりわけ中国経済の中心である江南における芸能のあり方と比較検討する必要が生じている。そのため本研究では、新たに江南地域の芸能を取り上げる。研究分担者のうち、二階堂・千田・山下は文部科学省科学研究費特定領域研究「東アジアの海域交流と日本伝統文化の形成(にんぷろ)」現地調査部門民俗信仰班の、太田・佐藤は同じく海地域班の研究代表者もしくは研究分担者として、江南地域の皮影戲・宣巻の研究を蓄積しているため、本研究ではその成果を継承・発展させ、江南地域の地域性に根ざした芸能のあり方や上海などの大都市を核とするネットワーク構造を解明し、華北地域との相対化を試みる。

2. 研究の目的

本研究は中国の北京周辺の華北地域および江南地域の伝統芸能を対象に、以下の諸点を解明する。

- (1)近現代における伝統芸能の形成・変容と現状の調査・解明
- (2)都市と農村を結ぶ伝統芸能のネットワーク構造の解明

(3)伝統芸能を支える社会経済背景の解明

(4)華北地域と江南地域における芸能文化および地域性の比較検討

(5)伝統芸能デジタルアーカイブの構築

具体的には、北京周辺の華北地域(北京市・天津市・河北省から東北地方までを視野に含む)と、上海を中核とする江南地域(上海市・江蘇省・浙江省・安徽省)の伝統芸能の調査・研究を並行して進めるが、主たる研究対象としては以下の伝統芸能を取り上げる。

北京地域：京劇・皮影戲・相声

江南地域：京劇・皮影戲・宣巻

研究の遂行に際しては、これらの芸能にとどまらず、同地域で行われていた他の伝統芸能(評劇・河北梆子や越劇・滬劇・灘簧・評弾など)も視野に入れ、必要に応じて芸能間の交流・影響関係や社会経済環境の相違などについても検討する。また研究にあたっては、特に西洋近代の流入および20世紀末以降の市場経済化の影響について留意する。

最終的には、文学・演劇学・歴史学・宗教学など様々な学術領域の知見を総合し、新たな中国伝統芸能像を立体的に描出する。

3. 研究の方法

本研究では前述の目的を達成するため、以下のような方法を採用した。

(1)現地調査によるインタビューや文献・博物資料収集と、文献資料調査とを相補的に進める

(2)文学・歴史学・演劇学・宗教学などの知見から分野横断的に調査研究を進める

具体的には、北京市・遼寧省凌源・黒竜江省哈爾濱・安徽省宣城の皮影戲、北京・上海の京劇、北京・天津の相声、江蘇省呉江の宣巻について、毎年、1～2回の現地調査を実施し、老芸人に対する聞き取り調査や上演の実態調査を実施した。一方、インタビュー結果にはさまざまな要因により誤りが入り込んでいる危険性があるため、平行して先行研究および地方誌・文史資料・雑誌記事・新聞記事、皮影戲の台本、さらには檔案資料などの文献資料の調査・収集を行った。また、皮影戲上演の一次資料である影人(影絵人形)などの博物資料の収集も進めた。

また、調査・研究の過程では、演劇学・文学研究の視点から伝統芸能の実態および台本の性質や芸能受容のあり方を、歴史学の視点から政治史・地域社会史・社会経済史的背景を、また宗教学の視点から地域における宗教・信仰的背景を、それぞれ考究し、さらにそれぞれの研究分野からの知見・成果を擦り合わせることで、各専門分野の研究手法や思考様式の枠組みにとどまらず、伝統芸能のありかたを総合的に把握することに留意

した。

現地調査の結果収集されたインタビュー記録や文献資料は、テキストデータ・画像データとしてデジタル化し、インターネットを通じて共有することで研究の効率化をはかるとともに、そうした資料を研究成果論文とあわせて公開することで、研究情報の発信を行った。

4. 研究成果

本研究においては、上述の研究方法によって、実施期間中、芸人へのインタビュー・上演環境の現地調査・文献資料の蒐集などを中心とした現地調査を毎年定期的に展開し、それによって従来知られていなかった多くの有形・無形の考究材料を入手するとともに、それらを用いた様々な検討・分析作業を行うことで、多くの研究成果を公表した。以下、研究テーマごとにその概要を記す。

(1)冀東系皮影戲研究。凌源・哈爾濱の現地調査結果と文献資料調査を総合することで、従来の研究では理解されていなかった様々な要素を解明し得た。第一点として、発掘した檔案資料を、インタビュー結果や台本資料と比較検討することによって、中華人民共和国成立後の1950・60年代における、冀東・遼西地域の皮影戲の実態、および快板・現代皮影戲などの位置づけを解明した。第二点として、皮影戲台本(影卷)の具体的な運用方法や、即興性について明らかにした。第三に、哈爾濱を中心に行われる竜江皮影戲の形成過程、および中華人民共和国成立後の児童皮影戲導入におけるソ連の影響を解明した。また、収集した多数の台本資料の影印出版を行うとともに、インタビュー調査で得られた老芸人のライフヒストリーを刊行した。

(2)皖南影戲研究。インタビュー結果と先行文献、および湖北・河南の皮影戲・芸能に関する先行研究を総合することによって、従来明らかにされていなかった皖南皮影戲の芸能としての特色、太平天国後の移民による皖南皮影戲の伝播と形成、中華人民共和国成立以降の変容の過程、「紀字頭」と呼ばれる台本運用方法などの問題について解明した。また冀東系皮影戲研究同様、インタビュー調査で得られた老芸人のライフヒストリーを刊行した。

(3)宣卷研究。中華人民共和国成立後の地域社会の変化、および無形文化遺産などの文化政策が伝統芸能に及ぼした影響について、具体的な解明を行った。

(4)京劇研究。海外の視点を導入した古装新戲の分析を行うことで、中華民国時期の近代化による伝統演劇の変容を明らかにした。また『順天時報』所載京劇上演広告記事のデータベース化を進め、XML データとして仮公開

した。

(5)相声研究。特に2000年代以降の急速な経済発展のもと、相声が変容しつつ新たな市場を開拓している状況を解明した。また、当該分野の研究において重要なツールとなる、『曲芸』総目録の作成と公開を行った。

以上、口頭発表や論文執筆、また資料公開によって、近現代における伝統芸能の形成・変容と現状の調査・解明、都市と農村を結ぶ伝統芸能のネットワーク構造の解明、伝統芸能を支える社会経済背景の解明、華北地域と江南地域における芸能文化および地域性の比較検討、伝統芸能デジタルアーカイブの構築、という、本研究の研究目的を達成することができた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計41件)

水上正、北京における相声の現状についての一考察、近現代中国の芸能と社会 皮影戲・京劇・説唱、査読無、2013、pp.199-213

水上正、雑誌『曲芸』総目録解題、中国都市芸能研究、第十二輯、査読無、2013、pp.55-90

二階堂善弘、平水大王と招宝七郎、近現代中国の芸能と社会 皮影戲・京劇・説唱、査読無、2013、pp.113-124

太田出、Fishmen in China's Taihu Lake Basin and inland freshwater sheries: Unsettled questions about the nature of rights, "Local Commons and Democratic Environmental Governance", 査読無、2013、pp.110-129

太田出、太湖流域漁民の香頭と贊神歌 非物質文化遺産への登録と創り出された「伝統」、近現代中国の芸能と社会 皮影戲・京劇・説唱、査読無、2013、pp.31-64

平林宣和、古装新戲の誕生 『嫦娥奔月』初演の文脈と古装の由来、近現代中国の芸能と社会 皮影戲・京劇・説唱、査読無、2013、pp.179-198

千田大介、皖南皮影戲考 伝播・変容・特色、近現代中国の芸能と社会 皮影戲・京劇・説唱、査読無、2013、pp.65-112

千田大介、皮影戲上演と即興性 皖南大影からの展望、中国都市芸能研究、第十二輯、査読無、2013、pp.39-54

戸部健・山下一夫、檔案資料から見た1950年代中国の影絵人形劇 河北省における登記工作を中心に、近現代中国の芸能と社会 皮影戲・京劇・説唱、査読無、2013、pp.125-154

山下一夫、黒竜江省の影絵人形劇 その系統と伝承、近現代中国の芸能と社会 皮影

戲・京劇・説唱、査読無、2013、pp.155-179
山下一夫、中国の影絵人形劇の改革とオ
ブラスツォーフ、中国都市芸能研究、第十二
輯、査読無、2013、pp.5-22
山下一夫、台湾社会の持続的発展におけ
る民間信仰の意義 媽祖信徒組織を例とし
て、嚴網林・田島英一編アジアの持続可能な
発展に向けて 環境・経済・社会の視点から、
査読無、2013、pp.199-212
佐藤仁史、近代江南における村落社会と
芸能 宣卷と堂名を中心に、近現代中国の芸
能と社会 皮影戲・京劇・説唱、査読無、2013、
pp.1-30
戸部健、中華人民共和国初期における「社
会教育」と大衆運動 天津市の事例から、
人文論集、第63号の2、査読無、2013、pp.9-40
戸部健、河北省檔案館所蔵影絵人形劇関
係檔案について、中国都市芸能研究、第十二
輯、査読無、2013、pp.23-38
氷上正・太田出・佐藤仁史・千田大介・
戸部健・二階堂善弘・平林宣和・山下一夫、
「近現代中国における伝統芸能の変容と地
域社会」2012 年夏季現地調査の概要、中国
都市芸能研究、第十一輯、査読無、2012、
p.74-81
氷上正、現代中国相声事情、中国都市芸
能研究、第十一輯、査読無、2012、p.61-73
二階堂善弘、妙見信仰と真武信仰におけ
る文化交渉、東アジア文化交渉研究、第5号、
査読無、2012、pp.11~22
二階堂善弘、關於民間寺廟祭孔の狀況一
以閩台地區為主(中文)、東アジア文化交渉
研究、別冊8、査読無、2012、pp.61~68
二階堂善弘、華光大帝の変容、東アジア
文化交渉研究、東アジア研究科開設記念号、
査読無、2012、pp.173~180
① 太田出、明清時代歌家考 從訴訟的脈
絡進行解析、日本学者中国法論著選訳(下
冊) 査読無、2012、pp.516-543
② 平林宣和、中华戏曲专科学校及其时代 -
1930 年代中国社会对戏曲的认识与实践、传
承 创造 生命 李玉茹与 20 世纪下半叶京剧创
造演出学术研讨会论文集、査読無、2012、
pp.235-243
③ 平林宣和、古裝新戲的“古”與“新” -
略論梅蘭芳《天女散花》及其他、戲曲學報、
第10期、査読有、2012、pp.221-231
④ 千田大介、皖南大影とその特色 現地調
査を通じて、中国都市芸能研究、第十一輯、
査読無、2012、pp.23-60
⑤ 山下一夫、竜江皮影戲の成立と哈爾濱兒
童芸術劇院、中国都市芸能研究、第十一輯、
査読無、2012、p.5-22
⑥ 佐藤仁史、民国时期江南的廟会組織与村
落社会 以吳江市的口述調查為中心、中国社
会歴史評論、通卷 13 号、査読有、2012、

pp.128-142

⑦ 氷上正・太田出・佐藤仁史・千田大介・
戸部健・二階堂善弘・平林宣和・山下一夫、
「近現代中国における伝統芸能の変容と地
域社会」2011 年現地調査の概要、中国都市芸
能研究、第十輯、査読無、2011、pp.26~34
⑧ 二階堂善弘、文昌帝君信仰と書院 - 台湾
における文昌帝君廟を例に -、東アジア文化
交渉研究、第4号、査読無、2011、11~19
⑨ 二階堂善弘、シンガポール・台湾の閩粵
系廟と祭、神関西大学東西学術研究所創立六
十周年記念論文集、査読無、2011、pp.173
~186
⑩ 千田大介、皖南皮影戲と河南・湖北皮影
戲、中国都市芸能研究、第十輯、査読無、2011、
pp.47~66
⑪ 山下一夫、冀東皮影戲の「翻書影」につ
いて、中国都市芸能研究、第十輯、査読無、
2011、pp.35~46
⑫ 山下一夫、2011 年度新収皮影影巻目録
郭永山氏旧蔵凌源皮影抄本、中国都市芸能研
究、第十輯、査読無、2011、pp.83~89
⑬ 佐藤仁史、回顧される革命 ある老基層
幹部のライフヒストリーと江南農村、山本英
史編『近代中国の地域像』、査読無、2011、
pp.381~419
⑭ 佐藤仁史、從清末民国時期的“教育圈”
看江南市鎮 以江蘇省吳江縣為例、復旦大学
歴史系編『明清以来江南城市の發展与文化交
流<復旦史学集刊第四輯>』、第四輯、査読有、
2011、pp.102~124
⑮ 佐藤仁史、清末における城鎮郷自治と自
治区設定問題一江蘇蘇屬地方自治籌辦處の
管轄地域を中心に、『東洋史研究』、第70卷
第1号、査読有、2011、pp.127~165
⑯ 戸部健、平民教育と天津社会 中華民国
北京政府期における「社会教育」の地域性、
山本英史編『近代中国の地域像』、査読無、
2011、pp.87~121
⑰ 戸部健、2010 年の歴史学界 回顧と展望
中国近代、史学雑誌、120 編 5 号、査読
無、2011、pp.228~235
⑱ 氷上正・太田出・佐藤仁史・千田大介・
戸部健・二階堂善弘・平林宣和・山下一夫、
「近現代中国における伝統芸能の変容と地
域社会」2010 年度夏期現地調査の概要、中
国都市芸能研究、第九輯、査読無、2010、pp.60
~67
⑲ 二階堂善弘、日本渡来の華人の神々、ア
ジア遊学、第133号、査読無、2010、pp.197
~203
⑳ 山下一夫、東北皮影戲研究のために 凌
源および哈爾濱、中国都市芸能研究、第九輯、
査読無、2010、pp.5~18
㉑ 戸部健、河北省檔案館・天津市檔案館利
用案内 附：石家莊・天津古書店案内、中国

[学会発表](計 29 件)

山下一夫、王屋山和無生老母、第 1 回日本・フランス中国宗教研究者会議、2014 年 3 月 13 日、専修大学

平林宣和、那宅花園における梅蘭芳と大倉喜八郎の邂逅 - 1919 年梅蘭芳帝国劇場公演の起点と『天女散花』、2013 年度慶應義塾大学藝文学会シンポジウム「京劇と日本 梅蘭芳を中心に」、2013 年 12 月 20 日、慶應義塾大学三田キャンパス東館 6-7 階 G-SEC Lab

平林宣和、古装新戯の誕生 『嫦娥奔月』初演の文脈と古装の由来、近現代中国における伝統芸能の変容と地域社会」研究成果報告会「近現代中国の地域社会と芸能 皮影戯・京劇・説唱」、2013 年 12 月 1 日、慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎中会議室

千田大介、影絵人形戯の台本と即興性 皖南大影の事例から、近現代中国における伝統芸能の変容と地域社会」研究成果報告会「近現代中国の地域社会と芸能 皮影戯・京劇・説唱」、2013 年 12 月 1 日、慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎中会議室

戸部健・山下一夫、檔案資料から見た 1950 年代中国の影絵人形戯 河北省における登記工作を中心に、近現代中国における伝統芸能の変容と地域社会」研究成果報告会「近現代中国の地域社会と芸能 皮影戯・京劇・説唱」、2013 年 12 月 1 日、慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎中会議室

佐藤仁史、近代江南における村落社会と芸能 宣巻と堂名を中心に、近現代中国における伝統芸能の変容と地域社会」研究成果報告会「近現代中国の地域社会と芸能 皮影戯・京劇・説唱」、2013 年 12 月 1 日、慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎中会議室

平林宣和、1919 年梅蘭芳訪日演出的“始”与“末” - 古装新戯《天女散花》与大倉喜八郎、北京中国戯曲学院主催「第五屆京劇学国際學術研討会 梅蘭芳與京劇的傳播」、2013 年 5 月 17-19 日、北京深圳大廈

佐藤仁史、歧視與無關心之間：浙江的賤民九姓漁戶の歴史和生活、暨南國際大学での講演、2013 年 3 月 18 日、台湾暨南國際大学

佐藤仁史、淨園寺史料と近現代中国社会史研究、愛知大学国際問題研究所ワークショップ「淨園寺・鳥居觀音史料から見る日中関係」、2013 年 2 月 21 日、愛知大学名古屋校舎

戸部健、檔案史料から見た河北省皮影戯と政府との関係 1950 年代を中心に、中国都市芸能研究会 2012 年度冬期大会、2013 年 1 月 12 日、慶應義塾大学日吉キャンパス

来往舎小会議室

山下一夫、東北皮影戯の特徴について、中国都市芸能研究会 2012 年度冬期大会、2013 年 1 月 12 日、慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎小会議室

二階堂善弘、重論《封神榜》Nezha 和龍王故事、試煉與苦難：中國宗教與文學的對話 國際學術研討會 (Trials and Suering: Dialogues between Chinese Religion and Literature)、2013 年 1 月 3 日、台湾・臺灣中央研究院中國文哲研究所

平林宣和、古装新戯与京剧国粹化 - 1910 年代京剧的新・旧・古、“新潮演剧与新剧的发生” 国际学术研讨会、2012 年 12 月 23 日、北京前门建国饭店

二階堂善弘、祠山張王信仰の発展と衰退、日本道教学会第 63 回大会、2012 年 11 月 10 日、名古屋大学

二階堂善弘、長崎崇福寺の媽祖堂和五帝堂、臺灣奉天宮 2012 華人宗教變遷與創新・媽祖與民間信仰國際研討會 (媽祖と民間信仰 國際シンポジウム) 2012 年 11 月 3 日、台湾・臺灣嘉義新港藝術高中中會議廳

佐藤仁史、九姓漁戶の近現代史 建德桐廬九姓漁戶的調查報告、香港中文大学主催「從浮生到定居：水上人上岸史比較研究」學術研討会、2012 年 10 月 28 日、香港中文大学

佐藤仁史、如何利用日本的中國調查資料？以江南為中心、香港中文大学主催“明清江南市鎮與運河”研討會 2012 年 10 月 14 日、蘇州書香世家樹山酒店

太田出、太湖流域漁民「香頭」的職務与其繼承 以若干「社」「會」為例、「從浮生到定居：水上人上岸史的比較研究」學術研討会、2012 年 10 月 13 日~2012 年 10 月 14 日、香港・香港中文大学

佐藤仁史、中國近現代基層社會史與口述資料：以太湖流域社會史調查為中心、浙江大学歷史系主催“新史料與新史學：挑戰與機遇”研討會、2012 年 8 月 26 日、浙江大学歷史系

佐藤仁史、日本的近現代中国基層社会史研究与田野調査、台湾大学政治系主催「中国研究的口述史工作坊 東南亞与日本」、2012 年 7 月 27 日、台湾大学政治系

① 太田出、中国太湖流域漁民と内水面をめぐる「官」「私」「共」 費孝通の開弦弓村調査との比較から分析する、中国環境問題研究拠点研究会、2012 年 7 月 6 日、総合地球環境学研究所

② 二階堂善弘、日本關公廟簡介其他、中國荊州國際關公文化學高峰论坛 (中国荊州國際關帝文化學術フォーラム)、2012 年 6 月 16 日、中国・湖北省荊州市

③ 千田大介、皖南皮影戯の“太平戯”をめ

ぐって、中国都市芸能研究会 2012 年度春期大会、2012 年 5 月 19 日、福井大学

②4 平林宣和、梅蘭芳『天女散花』再考 - 古裝新戲の“古”と“新”、中国都市芸能研究会 2011 年度冬季大会、2012 年 1 月 21 日、慶應義塾大学日吉キャンパス

②5 平林宣和、古裝新戲的「古」與「新」-略論梅蘭芳《天女散花》及其他、国立台湾戲曲学院 2011 戲曲國際學術研討會、2011 年 10 月 28-29 日、国立台湾戲曲学院

②6 千田大介、中国古典戲曲のデータベース化とその課題、中国都市芸能研究会 2010 年度冬季大会、2010 年 12 月 11 日、関西学院大学大阪梅田キャンパス K.G.ハブスクエア大阪

②7 山下一夫、東北皮影予備調査報告 凌源および哈爾濱、中国都市芸能研究会 2010 年度冬季大会、2010 年 12 月 11 日、関西学院大学大阪梅田キャンパス K.G.ハブスクエア大阪

②8 太田出、太湖流域漁民と劉猛将信仰 贊神歌を事例として、中国都市芸能研究会 2010 年度春季大会、2010 年 5 月 15 日、福井大学教育地域科学部中国言語文化資料室

②9 佐藤仁史、佐藤仁史・太田出・藤野真子・緒方賢一・朱火生編『中国農村の民間藝能太湖流域社会史口述記録集 2』(仮題) 構想報告」及び「江南農村における宣卷の上演環境 藝人とクライアントの関係に着目して、中国都市芸能研究会 2010 年度春季大会、2010 年 5 月 15 日、福井大学教育地域科学部中国言語文化資料室

〔図書〕(計 6 件)

氷上正・二階堂善弘・太田出・平林宣和・千田大介・山下一夫・佐藤仁史・戸部健、好文出版、中国皮影戲調査記録集 皖南・遼西篇、2014 年、p.1212

氷上正・佐藤仁史・太田出・千田大介・二階堂善弘・戸部健・山下一夫・平林宣和、好文出版、近現代中国の芸能と社会 皮影戲・京劇・説唱、2013 年、p.215

佐藤仁史、研文出版、近代中国の郷土意識 清末民初江南の在地指導層と地域社会、2013 年、p.445

漢字文献情報処理研究会編(千田大介・上地宏一・小島浩之・佐藤仁史・田邊鉄・二階堂善弘・師茂樹・山田崇仁)、好文出版、電腦中国学入門、2012 年、p.231

二階堂善弘、関西大学出版部、アジアの民間信仰と文化交渉、2012 年、p.256

佐藤仁史・太田出・藤野真子・緒方賢一・朱火生編、汲古書院、中国農村の民間藝能太湖流域社会史口述記録集 2、2011 年、p.256

〔産業財産権〕
出願状況(計 0 件)

取得状況(計 0 件)

〔その他〕
ホームページ等
<http://wagang.econ.hc.keio.ac.jp/~chengyan/index.php?%E5%8C%97pIV>

6. 研究組織

(1)研究代表者

氷上 正 (HIKAMI, Tadashi)
慶應義塾大学・総合政策学部・教授
研究者番号: 40228698

(2)研究分担者

二階堂 善弘 (NIKAIDO, Yoshihiro)
関西大学・文学部・教授
研究者番号: 70292258

太田 出 (OTA, Izuru)
広島大学・文学研究科・准教授
研究者番号: 10314337

平林 宣和 (HIRABAYASHI, Norikazu)
早稲田大学・政治経済学術院・准教授
研究者番号: 40271358

千田 大介 (CHIDA, Daisuke)
慶應義塾大学・経済学部・教授
研究者番号: 70298107

山下 一夫 (YAMASHITA, Kazuo)
慶應義塾大学・理工学部・准教授
研究者番号: 20383383

佐藤 仁史 (SATO, Yoshifumi)
一橋大学・社会科学部研究科・准教授
研究者番号: 60335156

戸部 健 (TOBE, Ken)
静岡大学・人文社会科学部・准教授
研究者番号: 20515407

(3)連携研究者
なし